

「最近の制振構造の傾向と設計事例」講習会

日 時：2014 年 10 月 31 日（金）13:30～17:30（13:10 受付開始）

会 場：新宿 NS ビル 30 階 「ホール A」（住所：東京都新宿区西新宿 2-4-1）

定 員：120 名（10 月 23 日締切、定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費（資料代込）：当協会・JSCA 会員・学生：4,000 円、非会員：6,000 円

※ 当日、受付にて徴収。お釣りの無いようご準備願います。

主 催：一般社団法人日本免震構造協会 制振部材品質基準小委員会

共 催：一般社団法人日本建築構造技術者協会（申請中）

JSCA 建築構造士登録更新のための評価点対象講習会（申請中）

協 賛：構造システム、構造計画研究所、NTT ファシリティーズ総合研究所

◇趣旨◇

「パッシブ制振構造設計・施工マニュアル」は、2005 年に初版、2007 年に第 2 版、2013 年に第 3 版を出版しました。特に、2011 年の東日本大震災以降は、建物揺れ変形の制御の観点から制振構造が見直されており、また近年は大都市部における長周期・長継続地震動に対する応答制御の必要性も高まっており、新たな制振ダンパーの動向も出てきております。その一つとして、「質量ダンパー」を適用した設計事例が近年実現しており、現段階では同マニュアルにも取り入れられていないこともあって、「質量ダンパー」の基本力学から設計上の留意点、さらに具体的な設計事例に関する講習会の開催を企画しました。

従来の「付加減衰機構」とは異なる、「動力学機構」を応用した応答制御技術であり、高度な知識が必要とされるものであり、基本力学に留まらず設計上の重要ポイントや具体的な設計事例を紹介することを中心とした内容です。建築構造の地震応答制御技術に興味をお持ちの構造設計技術者や制振ダンパー製造会社、研究者・学生の方々までの幅広い参加者を募っております。

◇プログラム◇

13:30～13:45	最近の制振構造の傾向	小委員会委員長	木林 長仁
13:45～14:45	質量ダンパー制振構造の基本力学	日本大学 教授	古橋 剛
14:45～15:15	質量ダンパー制振構造の設計上の留意事項	免制震デバイス	木田 英範
15:15～15:25	休憩		
15:25～15:55	同調回転慣性ダンパーの設計事例	NTT ファシリティーズ	杉村 義文
15:55～16:10	地震対策用 TMD の設計事例	鹿島建設	栗野 治彦
16:10～16:25	外付け質量ダンパーの設計事例	大林組	浅岡 泰彦
16:25～16:40	床制振 TMD の設計事例	清水建設	半澤 徹也
16:40～17:10	構造計算ソフトの制振構造対応について〔3 社〕		

◇申込方法◇

当協会ホームページの「講習会等のご案内」ページよりお申込下さい。

追って、「申込番号」が記載された申込確認のメールが届きます。

講習会当日は、その申込確認メールを印刷して受付までお持ち下さい。

◇会場案内◇

会 場：新宿NSビル 30階「ホールA」

※ 30階へは、ビル 1階の「スカイエレベーター(30階 直通)」でお越し下さい。

住 所：東京都新宿区西新宿 2-4-1

交 通：

- ・ JR 線、京王線、小田急線、東京メトロ丸の内線：新宿駅「南口、西口」より 徒歩約 7 分
- ・ 都営地下鉄線(新宿線)、京王新線：新宿駅「新都心口」より 徒歩約 6 分
- ・ 都営地下鉄線(大江戸線)：都庁前駅「A3 出口」より 徒歩約 3 分
- ・ 西武線(新宿線)：西武新宿駅より 徒歩約 15 分



※ 30 階へは、ビル 1 階の
「スカイエレベーター」でお越し下さい。

他のエレベーターは、30 階には
行きません



◇問合せ先◇

一般社団法人日本免震構造協会 事務局 電話： 03-5775-5432、 E-mail： jssi@jssi.or.jp